

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファーストクラス 岸和田駅前校		
○保護者評価実施期間	R8年 2月13日		R8年 3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R8年 2月13日		R8年 3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人のペースを大切に関わる	その日の体調・気持ちに配慮し、いつもできていたことができない日などにも寄り添いながら支援を進める。スモールステップで目標を設定し、「できた」という成功体験を積み重ねられるようにしている。	子ども自身の思いや希望を丁寧に聞き取り、自己選択の機会を増やす。
2	・繰り返し学習での定着	苦手なことも楽しく取り組めるよう、いろいろな角度から取り組む。一度できたことも何度も学習することで、自信をつける・確実な定着ができるよう進めている。	家族とも連携し、可能な範囲で継続的に取り組める環境づくりを行う。
3	・保護者との丁寧な連携	その日にあった出来事や・小さな変化を共有することを心がけている。『マンスリー』という個別支援計画に沿った目標についての様子を、2か月～3か月単位で保護者に共有している。	保育所等との連携。 就学に向けての取り組みなどの共有。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所や関係機関との情報共有や協働の機会	事業所内で相談や悩みなどの話をしたことを、他事業所や関係機関への共有が不十分。	地域のイベントなどから参加し、交流する機会を作る。
2	・保護者が参加できる行事や交流の機会が十分とは言えない	送迎に出る職員は支援を行っている職員でないため、その日の情報共有などが難しく、保護者と話す時間があまりない。 保護者ニーズの把握不足。	送迎の職員との情報共有。 保護者ニーズを知るためのアンケートなどを行う。